

学部・学科の教育目的

【現代生活学部 こども生活学科】

新しい時代における家族・家庭の在り方を研究教育の対象とし、生活者の視点に立って、保育、教育、福祉、家政、情報通信技術など広範な分野を学び、こどもの健全な発達と家族・地域・社会の支援に積極的に関わる職業人の育成を目指します。社会科学の知見をもとに、講義・演習・実習の多様な学びをいかして、現実の課題を解決しようとする柔軟性と粘り強さを併せ持った社会人の育成を目指します。

【現代生活学部 生活情報学科】

IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった新たな情報革新によって経済発展と社会的諸問題の解決を目指す現代社会において、消費、流通、コミュニケーション、情報などの生活様式の変化によって生じる諸課題を研究の対象としています。得られた情報を正しく活用し、新たな価値の創造によって現実社会の生活を快適で質の高いものにする社会人の養成を目指します。

【現代生活学部 食物栄養学科】

人々の生活構造と生涯のライフデザインとの両面から生活習慣病の発症予防と重症化予防、疾病の治療並びに介護予防に係る課題を教育研究の対象として、生活者の視点に立ち、地域社会の医療、介護、保育、教育、保健等の場において、健康の維持・増進を目指す栄養の指導ができる高度な専門的知識と技能を身に付けて、「健康長寿社会の実現」に貢献できる人材を育成します。